

令和 6 度第 4 回文化施設のあり方検討部会会議録		
開催日時	令和 6 年 9 月 2 7 日（金）午前 1 0 時から午前 1 1 時 1 0 分まで	
開催場所	奈良市役所 中央棟 3 0 1 会議室	
議題	1 開会 2 部会長挨拶 3 議事 （1） 音声館あり方検討のためのワークショップ開催について （2） 奈良市音声館 実施計画（案）について	
出席者	委 員	萩原部会長、上田部会員、風間部会員
	事務局	谷田市民部長、池田市民部次長、森文化振興課長、荒益課長補佐、吉川課長補佐、徳山総務係長、奈良市総合財団事務局 1 人
開催形態	公開（傍聴人 0 人）	
議事の概要		
1 開会		
2 部会長挨拶		
3 議事		
（1） 音声館あり方検討のためのワークショップ開催について		
【議事説明】		
・全 2 回開催した音声館あり方検討のためのワークショップ開催報告書を提案		
・ワークショップでの意見の一部を紹介		
【委員意見】		
・「入りにくい雰囲気である」というコメントが多く寄せられていたことは、印象的であった。		
・ワークショップ参加者の「館運営のお手伝いがしたい」というコメントは報告書に入れておいてほしい。市民が参画することは「文化的コモンズ」につながっていく。		
・奈良はストック（文化財等）を見られる場所が多いが、新しいものを見られる場所が少なく感じる。現代的な、今の人たちの文化を見たり、体験できたりする場が必要ではないか。		
（2） 奈良市音声館 実施計画（案）について		
【議事説明】		
・これまでのあり方検討についてどういった議論がなされてきたかを説明。		

- ・「実施計画（案）」についても、「現状と課題」を中心に説明。

【委員意見】

- ・実施計画には、そもそもあり方検討をするに至った経緯や背景を記載してはどうか。事例として参考できるものにもなる。
- ・資料編にシンポジウムの内容を掲載できればいいのではないか。シンポジウムでのキーワードであった「文化的コモンズ」を計画にも盛り込むべきではないか。
- ・わらべうたの継承については、なんらかの形でアーカイブをしていくのはどうか。可能であれば、そこにコーディネーターが介在し、市民参画がなされることが理想的である。
- ・市民が館に対して積極的に貢献できる部分を考えていただき、実践されていくことこそが「文化的コモンズ」である。
- ・現代的な生活文化の保存継承はなされづらい。計画の課題においても「アーカイブ」というワードを入れてもいいと考える。
- ・計画には、ワークショップで出た意見を課題と関連して記載していくのはどうか。
- ・ワークショップでの意見を「目指したい姿」として示し、指標もそれらに関わるものにする。指定管理者はそのなかから「自分たちであれば、このような分野で貢献できる」という内容を提案に盛り込むような形がよい。
- ・維持コストの部分の議論は十分とはいえなかったが、方法は考えなければならない。